

「フランス現代絵画の巨匠」と「兵庫県出身の世界的書家」の初めての二人展！

スーラージュと森田子龍

2024年3月16日（土）～ 5月19日（日）



フランスのアヴェロン県と兵庫県との20年をこえる友好提携を記念し、1950年代から直接交流のあった画家のピエール・スーラージュ（1919-2022／アヴェロン県出身）と書家の森田子龍（1912-1998／兵庫県出身）の展覧会を開催します。

国際交流は何をもたらし、文化的なアイデンティティはいかにして生まれるのでしょうか。スーラージュ美術館の全面的な協力により開催される本展では、二人の作品合わせて約50点に加え、書籍や日記などの資料を通して、芸術家の出会いを考えます。

森田子龍（左）とスーラージュ（中央）1963年、パリにて

みどころ

- ✓ 「前衛書」の旗手として世界的に知られる書家、森田子龍は、兵庫県豊岡市の出身。その作品は、1950年から60年代にかけて海外で開催された展覧会に次々と出品され、大きな注目を集めました。森田子龍の展覧会が神戸で開催されるのは約30年振りで、約30点の作品が一堂に会します。
- ✓ パリのルーヴル美術館で2019年から2020年に個展が開催されるなど、フランスの国民的な画家として人気を誇るピエール・スーラージュ。故郷ロデーズにあるスーラージュ美術館から出品される17点のうち16点は“日本初公開”。もう1点は、1951年に日本で初めて展示されたスーラージュの作品で、このたび、約70年振りに来日します。
- ✓ コロナ禍による二度の延期、2022年10月スーラージュ氏の102歳での逝去を経て、ついに実現した今回の二人展。森田の編集する雑誌『墨美』を通じて交流が始まった「白黒の仲間[※]」の競演を見ることができるのは、兵庫県立美術館だけです。（本展は巡回の予定はありません）

※ モノクロームの作品を描く画家たちを指す、森田の言葉。

若い世代の方にも気軽にお越しいただけるよう、大学生の観覧料を特別に1,000円(前売り800円)に設定しました。なお、高校生以下は「無料」です。ご家族やご友人と一緒にどうぞ。

戦後まもない時期、海外の抽象画と日本の前衛書は、国境やジャンルをこえて、同時代性を示していました。森田子龍が編集を行っていた『墨美』（1951年6月創刊）では、1950年代、欧米の抽象絵画を次々と紹介しています。

ピエール・スーラージュとの関係も、『墨美』をきっかけに始まりました。『墨美』26号（1953年8月）には、本人から提供された作品写真10枚が掲載されています。

「スーラージュは『墨美』が非常に好きでよく見てくれているようですが、
そんなことから今度アルコプレー※を通じて送ってくれたのです」
（『書と抽象絵画・座談会』『墨美』26号より）

※ドイツ系アメリカ人の画家

モノクロームの作品を描く画家たちを、森田は「白黒の仲間」と呼び、そのような仲間ができることは喜びであり、励みになったと述べています。1958年、初めて来日したスーラージュは、森田らと直接、意見を交わしました。1963年には、ヨーロッパを歴訪した森田が、パリでスーラージュ夫妻と再会しています。

戦後の抽象絵画を代表する画家のひとりである、「黒の画家」ピエール・スーラージュと、1952年に4名の同志とともに「墨人会」を結成し、新しい書のあり方を追い求めた森田子龍。二人は交流を通じ、互いの表現の共通点と相違点について考えを深めました。



左：森田子龍《蒼》1954年、国立国際美術館
右：ピエール・スーラージュ《Brou de noix sur papier 63 x 50 cm, 1949》1949年、スーラージュ美術館 © Adagp, Paris/ Photo : musée Soulages, Rodez/Christian Bousquet

■ピエール・スーラージュ (Pierre Soulages 1919-2022)

1919年、フランス南西部アヴェロン県ロデーズに生まれる。画業の最初期から晩年に至るまで、一貫して抽象を追究した。2014年、故郷ロデーズに、その名を冠した美術館が開館。生誕100年を記念し、2019年12月から2020年3月にかけて、パリのルーヴル美術館で個展が開催された（生前にルーヴルで個展が開かれたのは、ピカソ、シャガールに次いで3人目）。2022年没。

■森田子龍 (もりた・しりゅう 1912-1998)

1912年、兵庫県豊岡市に生まれる。世界的に知られる前衛書家として活躍。雑誌編集者としての側面もあり、師の上田桑鳩のもとで1939年頃から『書道芸術』の、戦後1948年からは『書之美』の編集に携わる。1951年『墨美』を創刊、1981年に301号で終刊するまで、「書芸術雑誌」として幅広い内容を取り上げた。1998年没。

<関連イベント>

■記念講演会

出演：ブノワ・ドゥクロン氏（スーラージュ美術館 館長）
日時：2024年3月16日（土）14:00-15:30（開場 13:30-）
会場：ミュージアムホール
定員：150名（先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり）

■座談会

出演：稲田宗哉氏（書家）
日時：2024年5月3日（金・祝）14:00-15:00（開場 13:30-）
会場：レクチャールーム
定員：60名（先着順、要観覧券、芸術の館友の会会員優先座席あり）

■ゆっくり解説会 in Spring

展覧会の見どころを手話通訳および要約筆記付きで解説します
日時：2024年4月28日（日）13:30-14:25
会場：レクチャールーム
定員：60名（先着順）

■学芸員による解説会

日時：4月6日（土）、5月4日（土・祝） いずれも 15:00-15:45（開場 14:30-）
会場：レクチャールーム
定員：60名（先着順）

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

日時：毎週日曜日 11:00-（約15分）
会場：レクチャールーム
定員：60名（先着順）

同時期開催の展覧会

- ・2023年度コレクション展Ⅲ
〔特集〕美術の中の物語
〔小企画〕生誕180年 呉昌碩の世界 ―海上派と西冷名家―
2024年1月13日（土）- 4月7日（日）

横尾忠則現代美術館で同時期開催の展覧会

- ・横尾忠則 ワーイ！★Y字路
2024年1月27日（土）- 5月6日（月・振休）

Ando Gallery 入場無料（当館2階）



近日開催のイベント

- ・HART TALK 館長といっしょ！ Vol.6
4月20日（土）（先着順、参加無料）
高見澤清隆氏（イベント・キュレーター、神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond総合ディレクター）
原久子氏（アートプロデューサー、大阪電気通信大学教授、高松市美術館アートアドバイザー）
テーマ：海側の県美、山側の「神戸六甲ミーツ・アート」
―2024-25年のこの地のアートシーンを考える
※詳細は、当館Webサイトにてお知らせします。

会期中のイベント

- ・美術館の日
4月28日（日）
当館の開館（2002年4月）を記念し、「ゆっくり解説会」や「ボランティアによる解説会」などを開催します。
詳細は、決定次第、当館HPでお知らせします。

開催情報

展覧会名	スーラージュと森田子龍
会 期	2024年3月16日（土） - 5月19日（日）
開館時間	午前10時 - 午後6時（入場は閉館の30分前まで）
休 館 日	月曜日 [ただし4月29日（月・祝）、5月6日（月・振休）は開館、4月30日（火）、5月7日（火）は休館]
会 場	兵庫県立美術館 企画展示室
主 催	兵庫県立美術館、神戸新聞社
企画協力	スーラージュ美術館
協 賛	公益財団法人伊藤文化財団
特別協力	公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
助 成	笹川日仏財団、一般財団法人安藤忠雄文化財団

■観覧料

	当日券	団体料金	前売券（3/15まで）
一般	1,600円	1,400円	1,400円
大学生	1,000円	800円	800円
高校生以下	無料		—
70歳以上	800円	700円	—
障害者手帳等をお持ちの方（一般）	400円	350円	—
障害者手帳等をお持ちの方（大学生）	250円	200円	—

※前売券販売期間：1月12日（金）～3月15日（金）23:59まで
 ※障害者手帳等をお持ちの方1名につき、その介助の方1名は無料。
 ※一般以外の料金でご利用される方は、証明書を当日ご提示ください。
 ※団体（20名以上）でご鑑賞いただく場合は事前のご連絡をお願いします。
 ※コレクション展は、別途観覧料が必要です（本展とあわせて観覧される場合は「割引」があります）。

○主なチケット発売場所

チケットぴあ【Pコード：686-779】、ローソンチケット【Lコード：53860】、CNプレイガイド、イープラス、楽天チケット、セブンチケット【セブンコード：103-908】、アンビュー！

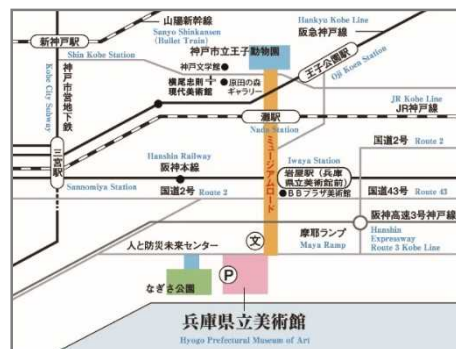
【コレクション展 “無料”観覧日】

公益財団法人伊藤文化財団の協賛により、コレクション展を「無料」でご鑑賞いただけます。

- 4月28日（日） 美術館の日(2002年4月の当館開館記念として)
- 5月12日（日） 第2日曜日、自由に話せる観覧日（コレクション展）
- 5月18日（土） 国際博物館の日

■交通案内

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
- ・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
- ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
- ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
 ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。
 ※団体バスでお越しの場合はバス待機所のご予約をお願いします。



「スーラージュと森田子龍」 広報画像ダウンロードのご案内

本展では、オンラインでご利用いただける、広報用ダウンロードシステムをご用意しております。本リリースに掲載している画像のうち以下の図版については、下記の URL にアクセスしていただきお申込みください。

※初回のみ新規ご登録が必要です。

※読者プレゼント用招待券も、下記 URL にてお申し込み頂けます。

https://www.artpr.jp/hyogo_pref_museum_of_art/soulagesandmorita



<input type="checkbox"/>  <p>森田子龍（左）とスーラージュ（中央） 1963年、パリにて</p>	<input type="checkbox"/>  <p>森田子龍《蒼》 1954年 国立国際美術館</p>	<input type="checkbox"/>  <p>ピエール・スーラージュ 《Brou de noix sur papier 63 x 50 cm, 1949》 1949年 スーラージュ美術館 © Adagp, Paris/ Photo : musée Soulages, Rodez/ Christian Bousquet</p>
<input type="checkbox"/>  <p>森田子龍《坐俎上》 1953年 兵庫県立美術館</p>	<input type="checkbox"/>  <p>ポスター画像</p>	

【 画像使用に際しての注意事項 】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
- 作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。
- 基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
- 掲載媒体を1~2部、もしくは URL、同録（DVD、CD）を「企画・広報担当」宛にお送りください。
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

兵庫県立美術館 取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の3営業日前までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

メール : press@artm.pref.hyogo.jp

F A X : 078-262-0903

お申込日 年 月 日

<< 取材内容 >>

希望日時	第1希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
	第2希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
	第3希望	年	月	日 (曜)	時	分	～	時	分
希望場所									
企画内容									
カメラ撮影	<input type="checkbox"/> あり (スチール 台 ムービー 台 三脚・脚立 台)								
	<input type="checkbox"/> なし								
取材人数	人								
取材時の代表者名									
媒体種別	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> Web <input type="checkbox"/> その他 ()								
媒体名									
掲載・放送予定日時	<input type="checkbox"/> 掲載	年	月	日 (曜)	時	分			
	<input type="checkbox"/> 放送	年	月	日 (曜)	時	分			

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-Mail	

* 企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

* 作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。

* 掲載媒体を1~2部、もしくはURL、同録 (DVD、CD) をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉

兵庫県立美術館 企画・広報担当 (政岡・早栗・成松)

〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL : 078-262-0905 FAX : 078-262-0903 Mail : press@artm.pref.hyogo.jp